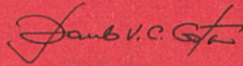


# ロータリーを高めよ

思いを尽くし熱意を尽くし



1990-1991年度 国際ロータリー会長 パウロV.C. コスタ  
第264地区ガバナー 大丸 鑑 明



## 海南東ロータリークラブ 第264地区

### Kainan East Rotary Club

事務所 〒642 海南市日方1294 海南商工会議所内  
TEL (0734)83-0800 FAX (0734)82-7370

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣️1例会のみ 18時30分  
於 海南商工会議所4F

会長 奥村 匡敏 幹事 広野 旭 SAA 田村 能孝  
会報委員会 ◎谷口 誠也 ○岩本 吉平 岸 義朗  
向井 久佳 山野 明 土井 元司

♣️771回 例会 平成3年6月17日(月)午後12時30分 於 海南商工会議所

1. 開 会 点 鐘 倉橋利幸 副会長

2. ロータリーソング「我等の生業」

3. ゲスト紹介 前田 亥津二様

4. ビジター紹介 塩崎 順弘様、東 義行様、島本 安弘様 (海南RC)

5. 出席率の報告 会員総数 71名 出席者数 53名 出席率 75.71%  
前回修正出席率 80.00%

6. 会長スピーチ 倉橋利幸 副会長

奥村会長の代理をさせていただきます。ビジターの塩崎様、東様、島本様ようこそおいで頂きました。ゲストの前田亥津二様おいそがしい中、どうもありがとうございます。我々の本年のサブテーマであります環境保全の問題、その中で特に緑と言うことで、命と緑という事についてお話し願えるそうであります。どうか皆様、最後までご静聴お願い致します。

7. 幹事報告

○メーカーキャップ 6/8 角谷勝司君、田中丈士君、中尾公彦君 (江東RC)  
6/8 冷水正雄君 (和歌山東南RC) 6/11 山下倫弘君 (和歌山RC)  
6/12 中村文雄君、追田博司君、冷水正雄君 (海南RC)  
6/13 谷井昭三君 (和歌山城南RC) 6/14 中野幸生君 (和歌山南RC)

○例会臨時変更のお知らせ

海南RC 6/26(水) → 6/26(水) PM18:30~

和歌山南RC 6/28(金) → 6/28(金) PM18:00~ 紀の国会館

高野山RC 7/5(金) 7/12(金) 7/19(金) 7/26(金) 午後6時~ 平常通り

○和歌山県障害福祉課 障害者の作った製品カタログが届いています。

○次回例会は、初音さんで夜間例会です。

8. 次年度幹事より 7月第一例会7時からに時間変更します。

8月 9月、(サマータイム) 検討中

## 9. ゲスト紹介 岡田プログラム委員長

### 前田先生のプロフィール

植物、野鳥等、自然生物に学識の高い先生です。国吉小学校の校長先生を最後に教職を離れ、現在、日本野鳥の会和歌山県支部長、和歌山県立自然博物館友の会々長としてご活躍中。今日は「命と緑」の題でお話しをして頂きます。ゴルフをする私たちの一部の者にとりましては、いくらか耳のいたい話もあるかも知りませんが、環境破壊が確実に進んでいるこの地球の上で生活している私たちにとって、大切なお話しを聞かして頂きます。

## 10. ゲスト卓話 前田 亥津二様

この間の日曜日、長年の念願であった滋賀県の田上山に登ってまいりました。田上山は、かつて奈良時代に藤原宮造営、平城京の造営、東大寺、大仏殿の創建の頃に、さかんにヒノ木を切り出したそうです。約千三百年前ぐらいに原生林からヒノ木を切り出したばかりに、その後、山が荒れだし、今だに植生が回復しない山であります。火口岩の噴火した白河砂の土質なので、なおさらのことです。

明治になり、田上山の植生を回復させようとし、政府が資金を投じているが、ほとんどの部分が裸であって、木や草を根づかせることができない所です。

法隆寺のエンタシスという柱はヒノ木で、直径 2.5m~3m の2つわり、4つわりを使っているそうです。樹令は千年以上のヒノ木を材にしたら、木の強さの尺度は無限にあり、総合的に見ると、切ってから150年~250年はだんだん強くなるそうです。それから極めて除々に弱くなっていくそうです。ですから、法隆寺の柱のヒノ木は、千三百年後の今は、作った時の真っさらと同じぐらいの強さがあると言われてます。切り口の直径1m以上、長さ30mぐらいのヒノ木が84本使われたそうです。全部近畿地方からとれたものです。ところが、東大寺、興福寺は平清盛の焼きうちにより、焼かれてしまいます。その後、後白河が再建するが、その時の木は近畿地方になく、山口県からとりよせたそうです。東大寺の再々建の時には、日本国中にはなく、合成木の思想ができたそうです。虹針（こうりょう）だけは、一本ものが必要で、九州の霧島からとりよせたということです。つまり、大和朝廷から奈良時代の間に近畿地方の山はほとんど原生林は裸になった。言い換えれば大木は全部なくなったと考えられます。もともと人間の文明の歴史はまさしく森林破壊の歴史にちがいありません。人類の文明の発生はメソポタミア文明から始まっています。今は砂漠地帯となっているが、もともとは、豊かな緑の地帯であったにちがいないのです。人間がそこに文明を築いたために、土を食いつぶしてその土地を砂漠にしてしまった。人間の文明というのは、まず食糧を手に入れる苦心があって、それで生活する余力で文明が発達しています。人間の文明は中近東からおこり、利用しやすい森林地帯を西東へ帯のように伸びていったと言われている。西がヨーロッパ、東がアジアの方で、シルクロードなどはその一部である。シルクロードは、砂漠が多いがその中にも、昔の町の跡があり、そこには必ず大きな木で作った建物があったであろう、柱の跡がある。ここにも元は森林があったと思われる。①木を切ると、水が、かれる水の問題 ②土を食いつぶす=緑をなくす 土の問題 森林を滅ぼすということは、水を少なくし、土の生産を止めるということです。だから、人類の文明の栄えた所が土が食いつくされて文明は滅びるということになる。一つの土地で、人間が栄えることのできる年数は人一生 一代と数えて、約三十代~七十代ということです。

### ニコニコ・米山・ポリオプラス・BOX

中野 幸生君 和歌山（ケヤキ通り）の方に本部機能を移す為、和歌山の方にクラブを移籍しますのでよろしくお願ひします。10年間程大変長くお世話になりました。ありがとうございました。

角谷 勝司君 滋賀県新旭町にマット工場 6月16日新築落成 8/1より「サンテックス」新社名にてスタート致します。

田村 守君 ゲストの前田先生にはいつもお世話になっています。

田村 能孝君 先週新垣先生にご迷惑かけました。